※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「　書Ⅱ　」　（光村出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道における表現と鑑賞の幅広い活動の中で、感性を高め、書の伝統や文化についての理解を深めていきます。様々な場面に対応できる書写能力を育て、主体的に自己を表現する能力を高めていきましょう。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して，書に関する見方・考え方を働かせ，生活や社会の中の文字や書，書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（1）　書の表現の方法や形式，多様性などについて理解を深めるとともに，書の伝統に基づき，効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（2）　書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

（3）　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性について理解している。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な具能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し、個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞を創造的に活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書	・楷書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ・楷書の古典の書風の即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。(創作)	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。(知) a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技) b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆・運筆、字形などを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:漢字の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント 観察
2	篆刻	・篆刻の歴史を知り、理解する。 ・篆刻の魅力に触れ、工夫しながら制作に取り組む。	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知）	作品	プリント	振り返りプリント 観察

※令和４年度以降入学生用

2	漢字仮名交じりの書	・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 ・意図に基づき、漢字（楷書・行書）と仮名の調和した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。（創作）	a：目的や用途に即した効果的な表現の技能を身に付けている。（技） b：漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。 b：想像された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 C：書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント

※令和４年度以降入学生用

3	仮名の書	・臨書を通じて、古典（平仮名・変体仮名・片仮名）の書風に即した用筆・運筆、線質、字形を理解する。 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成を工夫しながら、表現する。（創作）	a：古典の特徴と表現効果との関わり、書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） a：線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a：書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。（技） b：古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆・運筆、字形などを工夫している。 b：創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。（鑑） c：仮名の書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c：書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品	プリント	振り返りプリント

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度